

簡易取り扱い説明書

『FLIR C2』

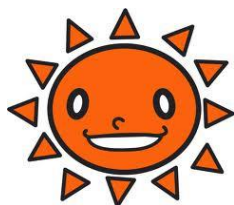


製品特長

- 簡単操作のタッチスクリーン！
- 特許技術MSX搭載で鮮明な画像
- ポケットサイズの薄型赤外線カメラ



注意事項



太陽や高出力レーザーを見ない

素子が焼けつき、温度測定ができなくなります。
 また素子の焼きつきについては
 保証範囲外となりますので、ご注意ください。



取扱い

レンズは直接触らない、濡らさないでください
 カメラ使用時はストラップをつけ、落下防止策を取ってください



詳しい取扱説明書

下記のリンクよりダウンロードをお願いいたします。

<http://thermo.secret.jp/index.html>

使用準備

保存ボタン (シャッター)

カメラライト

電源ボタン

デジタルカメラのレンズ

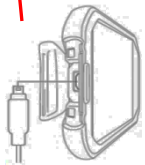
赤外線カメラのレンズ



A・充電

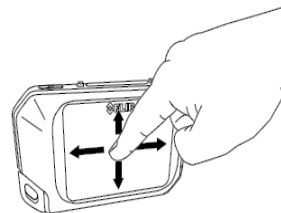
側面のカバーを開け、充電します。

* 充電1.5時間 動作2時間



B・操作

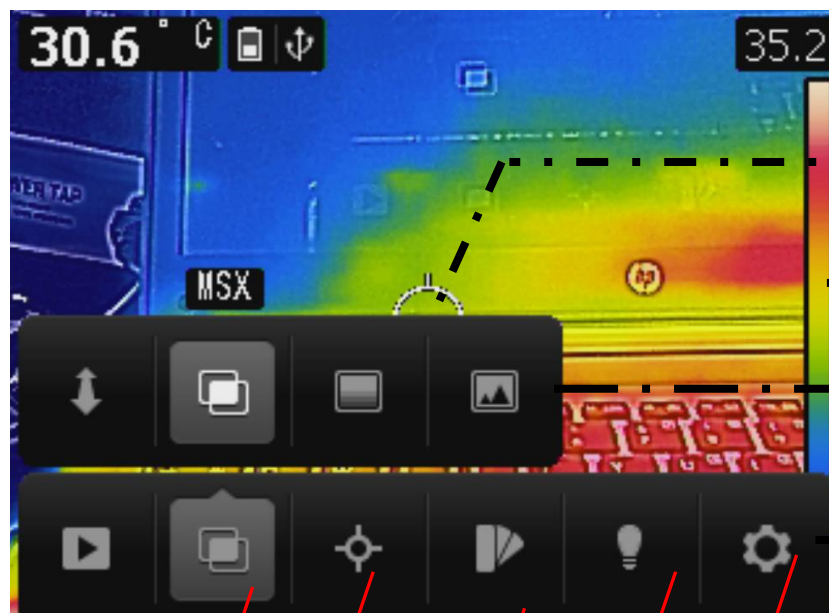
シャッター、電源以外は
タッチパネルで操作します



画面構成

画面中央の温度 | スポット

ステータス | 電池・メモリ残量・PC接続



スポットメーター

温度スケール

サブメニュー

メインメニュー

画像再生

イメージモード選択

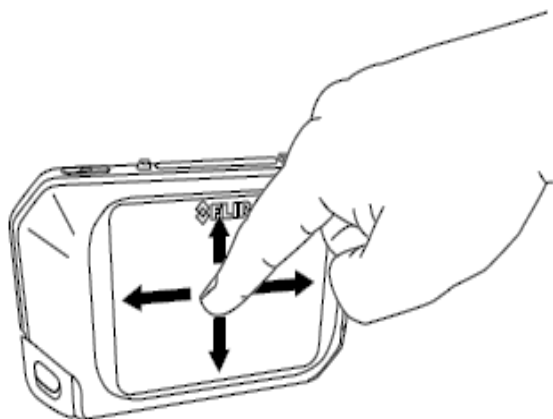
スポット表示選択

オプション | デバイス設定 (カメラ情報等)

LEDライトの設定

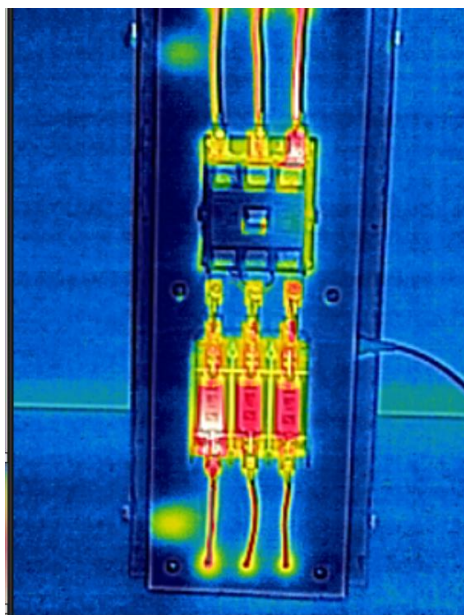
カラーパレットの変更

イメージモードの説明



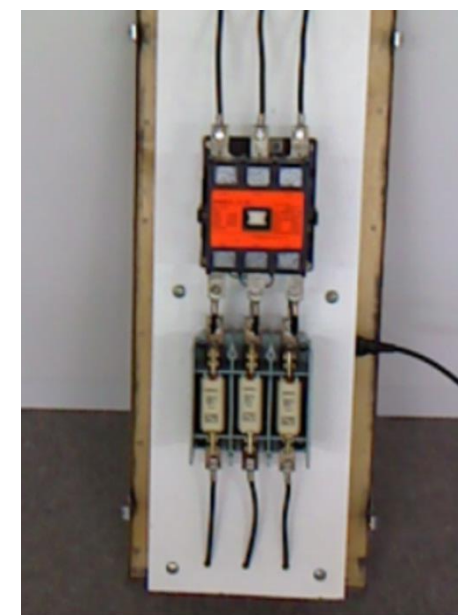
モードを変更するには・・・

タッチパネルにタッチしメニューを表示させます。イメージモードを選べると様々な画像合成モードを選択できます。



MSXモード

熱画像+可視画像合成



デジカメモード

温度も表示可能です

便利な機能①

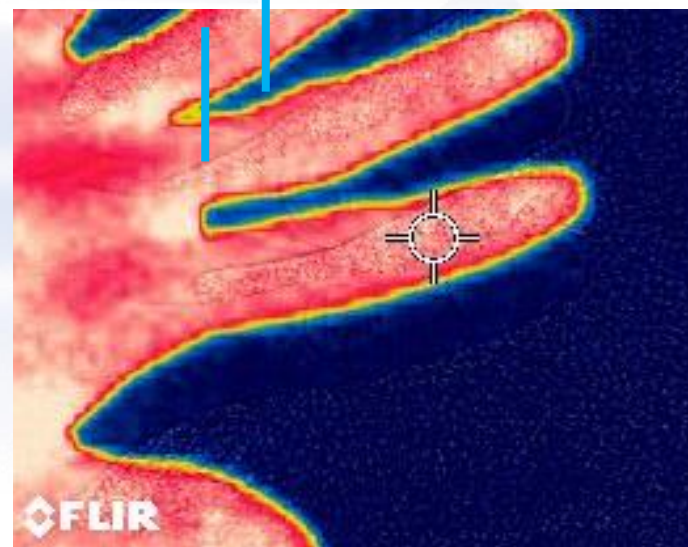
画像合成の位置合わせ

撮影距離に応じて、MSXモードにおける
画像合成の位置を設定します



合成例

可視画像の輪郭と熱画像の輪郭が重なるよう
撮影距離に応じた距離を設定します
下の画像は輪郭がずれている例です

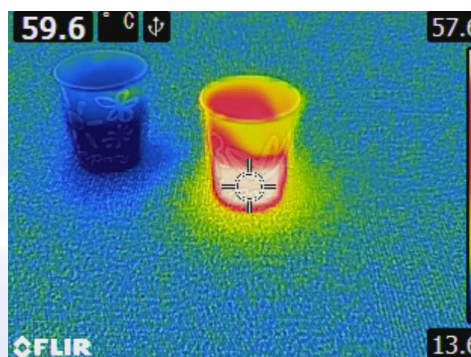


便利な機能②

自動モード

環境によって温度に対する表示色が変わります。右のコップは33.7℃
56.5℃と温度差がありますが
同じ色で表示されています。
デフォルト設定の測定モードです

59℃のお湯を測定

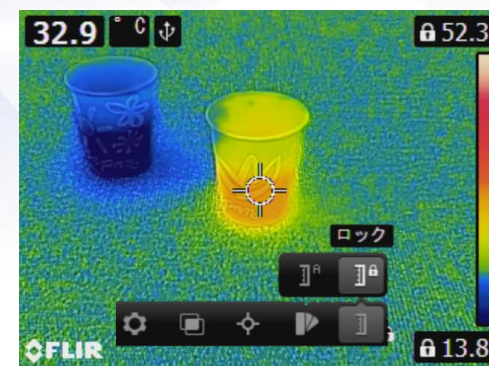
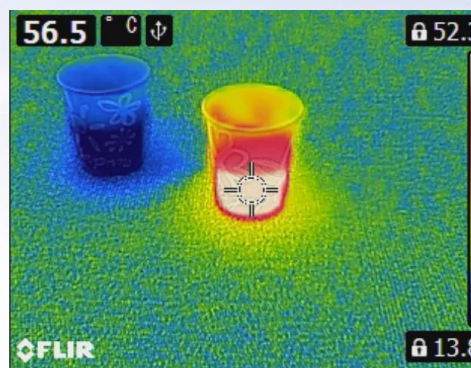


33.7℃のぬるま湯を測定



ロックモード

温度に応じて色が固定される為
測定環境に左右されずに
機器の相对比较が可能です。



***操作** メニューの温度スケールから『ロック』を選択します

精度を高める測定

測定精度を高めるには？

精密な温度計測を行うには放射率というパラメータを設定します。

一般的には被写体表面の光沢がなく（マット）・表面がざらついている粗い

ものが測定が容易で、つやのあるもの（光沢・表面がなめらか）は測定精度が低下する傾向にあります。

放射率の簡単な設定

被写体の見かけの状況から判断し、カメラにプリセットされた項目を選択します 素材別の放射率は取り扱い説明書巻末にも記載されています

設定の仕方

メニュー⇒『設定』を選択⇒『測定パラメータ』を選択

『放射率』の値を設定する

